

Q1 日本国内でも不況が続き、 財政状況が厳しいなか、 なぜ途上国への援助が必要なのか。

A 日本の国際的信頼を高めるとともに、
国際社会の安定と平和に寄与するためです。

ODAは国際社会での重要な責務

政府開発援助(ODA)を巡る国内の環境はこれまで以上に厳しくなっています。2002年10月の内閣府の世論調査によれば、国民の約64%の人がODAに対して「積極的に進めるべきだ」、もしくは「現在程度でよい」と回答しています。しかし、一方で、厳しい経済・財政状況などを背景に、なぜ多額の海外援助を続ける必要があるのかという声があることも確かです。

しかし、世界人口約62億人のうち、13億人以上の人々が飢餓と極度の貧困に苦しんでおり、環境、人口、エイズ問題、情報技術格差(デジタル・ディバイド)など地球規模の問題も山積しています。ODAを通じてこれらの問題に取り組むことは、日本の国際的信頼の基となり、ひいては国際社会における日

本の存在感を高めることとなります。特に、軍事的手段をもたない日本にとってODAは最も重要な外交手段の一つです。

またODAは、開発途上国の安定と発展への貢献を通じて、国際社会の平和と安定に重要な役割を果たすものです。このことは、国際平和をよりどころとし、資源・食糧を海外に依存する日本にとって、国民の生活を守り、自国にとって好ましい国際的環境を構築するなど、国益の増進に貢献しています。



いろいろな国で活動する青年海外協力隊員 (JICA「国際協力フォトコンテスト」入賞作品より)
上: 野菜栽培の指導(セネガル)
下: 大西洋の海上で釣り上げた鯛と(モロッコ)



ODAが重要な理由

ODAが日本の国益に役立っている主な理由を、具体的にみていきましょう。

日本の安全を確保する

ODAは、日本の安全を確保する観点から重要です。ODAを通じて途上国、特に東アジア地域の経済や社会の安定と発展に貢献することは、結果的に日本の安全保障につながります。

また、日本は食糧・エネルギーなどの資源の多くを諸外国、とりわけ途上国に依存しています。ODAを通じて途上国の安定を図ることは、両国の友好関係を深め、資源の安定的供給確保の観点からも、非常に重要です。

環境問題の解決は人類生存のための課題である

環境問題は、人類の生存にも関わってくる地球規模の問題です。特に、日本周辺諸国での環境の悪化は、日本の環境にも直接、大きな影響を及ぼします。途上国の多くは、環境問題に取り組む意思はあっても資金と技術が伴わないのが実情です。これを放置しておくことは、日本自身、ひいては世界全体の環境にも悪影響を及ぼしかねません。

さらに、日本自身の環境問題への取り組みの歴史が証明するように、実際に問題が起きてしまってから対応するよりも、ODAで未然に環境悪化を防ぐほうが、はるかに少ない費用で済むのです。

日本に住む人々の生活を守る

環境問題の悪化とともに、感染症、貧困を背景とする紛争、テロ、難民、麻薬などの途上国の問題は、世界や日本の安全を脅かします。

ODAを通じた、途上国の貧困の緩和や保健・医療の改善などに向けた支援、さらには平和の定着と国造りのための支援は、途上国の人々の生活向上に役立つだけでなく、日本

を含めた世界の人々の生活を守ることになるわけです。

世界の格差是正と貧困問題の解決に貢献する

日本は貿易立国を図る過程で、自由で開放的な国際経済体制から多大な利益を受けてきました。しかし、経済のグローバル化は、一方で経済格差の拡大と貧困の増大といった問題を生み出しました。

貧困問題の解決は、ミレニアム開発目標(MDGs)において第一の目標に掲げられている通り、国際社会全体が取り組むべき課題です。

ODAがもたらす途上国の経済発展は、日本の経済にもプラスとなる

東アジアの飛躍的な経済発展は、輸出市場や投資先の拡大という大きな利益を日本にもたらしました。このような東アジアの発展には、日本のODAが大きな役割を果たしました。

アジアをはじめ世界各国の発展を今後も継続していくことは、日本経済にとってもプラスになり、そのためにはODAが依然として必要なのです。

国際貢献は国際的地位向上の源

日本がODAの拡充に努めて50年近くになります。援助大国となった過程で培われてきた、「途上国への協力に熱心な国」という日本に対する好イメージは国際的にも定着し、国際社会での発言力も大きく増えています。ODAを通じてのこのような国際社会での評価は、決して過小評価するべきではなく、国際的地位向上の源といえます。



トンガでの授業風景。青年海外協力隊員が指導しているのは日本のそば